

第43期(2020年3月期)

中間ビジネスレポート

2019年4月1日 ▶▶▶ 2019年9月30日

AND株式会社 エー・アンド・デイ

東京証券取引所市場第一部上場 証券コード：7745

A&D Topics A&Dトピックス

Topic1 「健康経営」についての取り組みを当社ホームページで公開

計測・計量・医療機器メーカーである当社は、お客様の健康をサポートする製品をご提供するためには、まず全社員が心身ともに健康であることが重要と考え、現在「健康経営」に取り組んでいます。当社は、2018年9月21日付で「こころ」「からだ」「職場環境づくり」に重点を置いた健康経営宣言を制定しました。健康経営は当社の重要方針の1つです。当社ホームページに当社の健康経営への取り組みや効果検証データなどをご紹介します。ページを新設しましたので、ぜひご覧ください。

※「健康経営」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。

<https://www.aandd.co.jp/>



「企業理念」等と同等にトップページにリンクボタンを設置

健康経営宣言

エー・アンド・デイは、経営理念の実現のため、社員の健康維持・増進活動を積極的に支援し、組織的な健康増進施策を推進することによって、社員一人ひとりが心身ともに健康で、自らの能力を最大限に発揮できる職場環境を作っていくことをここに宣言します。

株式会社エー・アンド・デイ 代表取締役執行役員社長
森島 泰信

紹介内容例

- 1 産業保健スタッフによる健康相談の実施
- 2 「A&D健康だより」の発行
- 3 開発・技術センターの社員食堂における健康啓発
- 4 全国の社内建屋内と営業車内の全面禁煙

Topic2 厚生労働省実施「国民健康・栄養調査」にA&D製の水銀レス血圧計が採用

当社が製造・販売を行う水銀レス血圧計「スワンハート UM-102/UM-102B」が、令和元年「国民健康・栄養調査」に使用されました(調査時期：2019年11月)。「スワンハート UM-102/UM-102B」は水銀を使わない電子式血圧計で、2014年5月の発売以来、国内外を含め約6万台を販売しています。この製品は、厚生労働省の示す要件をすべて満たすものとして、この度採用されることとなりました。

水銀レス血圧計「スワンハート UM-102/UM-102B」の特徴

- 水銀を使用していない電子血圧計
- 環境にやさしく、廃棄の際に困りません
- 水銀ぶまりの心配がなく、取り扱いが簡単でメンテナンスも不要
- 水銀式に近い、なめらかな動きのバー表示
- メモしたいポイントを残せるホールド機能
- 測定中の圧力値を数字で表示
- 脈拍数を自動的に測定し、測定後に表示
- 感染防止のため、消毒液による拭き取りが可能
- 単3アルカリ乾電池2本で約2,000回測定可能
- 見やすい大型デジタル表示

脱水銀血圧計ご案内動画

<https://www.aandd.co.jp/adhome/products/me/um102.html>

国民健康・栄養調査

「国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状況を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的」(厚生労働省ホームページより)に、各地方公共団体を通じて毎年実施されています。

国民健康・栄養調査に使用する血圧計の要件

- (1) 測定方式：聴診法であること
- (2) 加圧方式：送気球による手動加圧であること
- (3) 表示方式：バー表示であること
- (4) 管理医療機器または特定保守管理医療機器に分類されていること



スワンハート UM-102

スワンハート UM-102B

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

ここに「第43期中間ビジネスレポート」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経済環境は、日本においては足元の企業業績は堅調に推移したものの、韓国との関係悪化や米中の貿易摩擦に起因する外需の鈍化が見られました。それに加えて、国内では10月からの消費税増税に伴う消費行動の低下懸念、海外では混沌とする英国のEU離脱問題や中東情勢等、先行きについては不透明な情勢が続いております。

このような状況の中、当社グループは、新製品開発、新規市場の開拓に注力し、お客様や社会における多様なニーズやその変化に対応してまいりました。また、引き続き成長分野に対する積極的な開発投資を行うことで、他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は22,826百万円（前年同期比8.7%増）、営業利益は944百万円（同170.7%増）、経常利益は771百万円（同92.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は182百万円（同40.2%減）となりました。

当初の業績予想値に対しては、為替相場が当初の予想よりも円高傾向で推移したこと、米中貿易摩擦や日韓関係の悪化に伴って幅広い地域で需要が減退したことに加え、大型案件の受注および検収の時期が当初の見通しより後ろにずれこんだことにより、売上高および営業利益、経常利益は予想を下回りました。一方、税金費用と非支配株主に帰属する四半期純利益が予想の水準を下回ったため、親会社株主に帰属する四半期純利益は予想を上回る結果となりました。

以上の通り業績結果は厳しいものの、中間配当につきましては、株主様への利益還元方針に基づき1株当たり10円といたしました。

今後におきましては、上記の実績を踏まえ、下期重点政策として以下の施策に取り組み、利益の確保を図ってまいります。

- ▶ ガバナンス強化による海外子会社の収益改善
- ▶ 開発効率を意識した研究開発費の抑制
- ▶ グローバル調達によるコストダウンの推進
- ▶ 自動車・タイヤ業界向けDSPシステムの受注活動強化
- ▶ 新製品の上市（新型上腕式ホースレス血圧計等）

通期の連結業績予想については、こうした施策と今後の為替相場や需要予測等、最新の見通しを踏まえて検討した結果、期初計画から修正させていただくこととしました。そのため、通期の連結業績見通しは、売上高50,000百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益は3,200百万円（同16.3%増）、経常利益は2,900百万円（同8.1%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,720百万円（同9.5%減）を予定しております。

株主の皆様には、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役
執行役員社長 森島 泰信

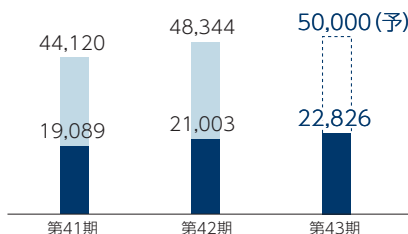
財務ハイライト（連結）

■ 通期
■ 第2四半期累計

Financial highlights

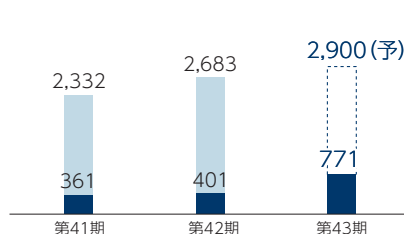
■ 売上高

単位：百万円



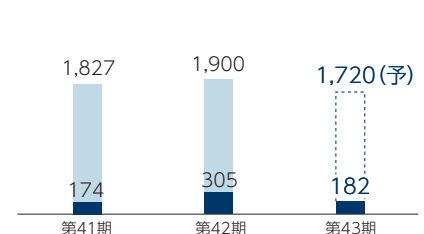
■ 経常利益

単位：百万円



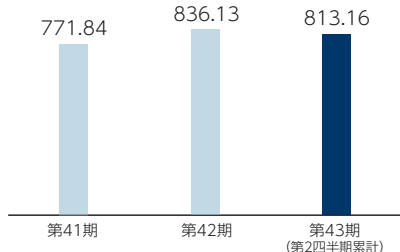
■ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

単位：百万円



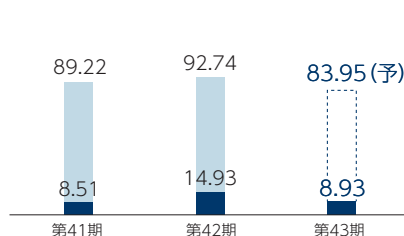
■ 1株当たり純資産

単位：円



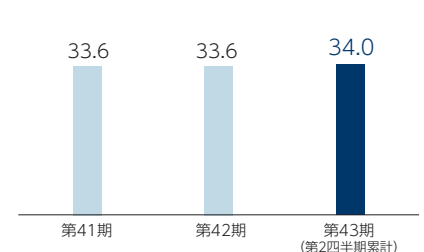
■ 1株当たり四半期(当期)純利益

単位：円



■ 自己資本比率

単位：%

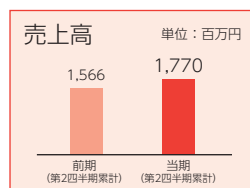


医療・健康機器事業 38.2%

計測・計量機器事業 61.8%

医療機器 7.8%

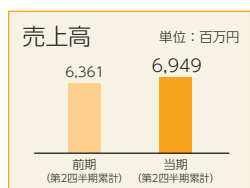
計測機器 5.5%



国内の看護用血圧計等が好調。



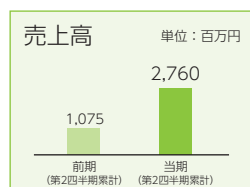
健康機器 30.4%



国内は前年の全自動血圧計や活動量計の特需がなくなり苦戦するも、海外はロシアおよび米国、カナダを中心に売上が好調。



半導体関連 12.1%



子会社ホロンの扱う半導体機器関連の売上が大幅増。

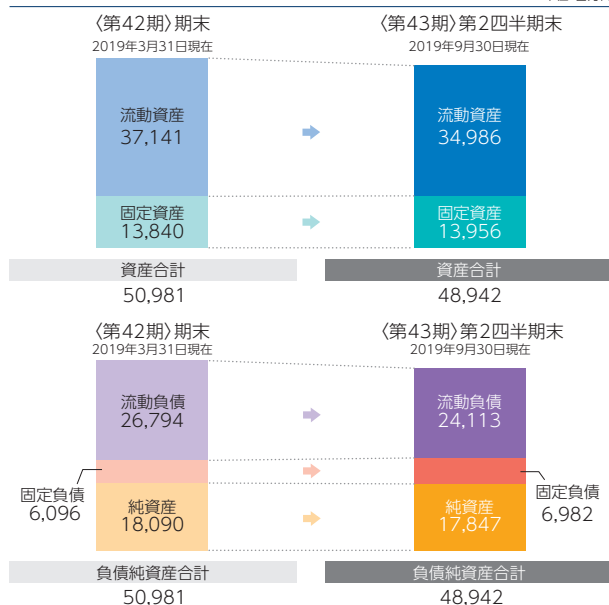


連結財務データ

Consolidated financial data

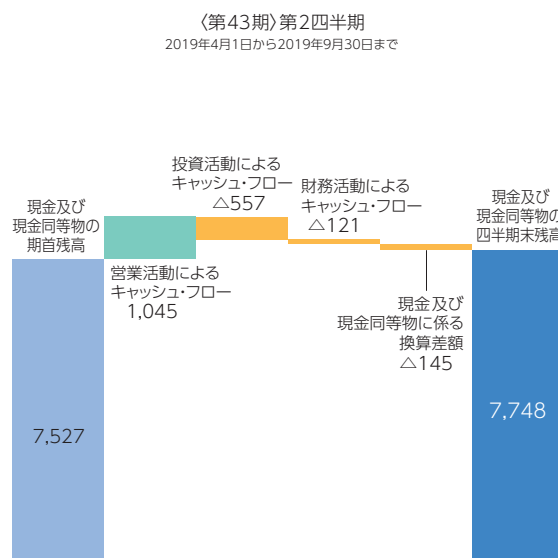
財務状況

単位：百万円



キャッシュ・フローの状況

単位：百万円



会社概要 (2019年9月30日現在)

■所在地	東京都豊島区東池袋三丁目23番14号		
■設立	1977(昭和52)年5月6日		
■株式の状況	発行可能株式総数	40,000,000株	
	発行済株式の総数	22,579,700株	
	株主数	5,416名	

大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
エー・アンド・デイ従業員持株会	1,268千株	6.09%
MLI FOR CLIENT GENERAL OMNI NON COLLATERAL NON TREATY-PB	1,129	5.42
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,112	5.34
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	654	3.14
(株)埼玉りそな銀行	606	2.91
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO)	594	2.86
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002	500	2.40
(株)足利銀行	490	2.35
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口5)	360	1.73
古川 哲	350	1.68

(注) 1. 当社は、提出会社名義の自己株式を1,755,935株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の導入に際して設定した資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有する当社株式335,400株を含んでおりません。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式を控除して計算しております。

■従業員	729名
■資本金	6,388,671,700円

重要な子会社の状況

会社名	資本金	出資比率	主要な事業内容
研精工業株式会社	81,800千円	100.0%	電子天秤及び医療機器の製造
リトラ株式会社	200,000千円	100.0%	インジケータ、ロードセル、電子式台秤及び選別・仕分け機器の製造
株式会社オリエンテック	268,640千円	100.0%	計測機器の製造
株式会社サム電子機械	330,000千円	100.0%	各種試験装置の製造、販売
株式会社ベスト測器	20,000千円	100.0%	環境計測機器の開発、製造、販売
株式会社ホロン	692,361千円	51.0%	半導体電子ビーム測定検査装置の開発、製造、販売
株式会社MBS	200,000千円	100.0%	自動車計測に関するエンジニアリングサービスの提供
A&D ENGINEERING, INC.	200千米ドル	100.0%	当社製品の販売 (米国)
愛安徳電子(深圳)有限公司	45,000千香港ドル	100.0%	電子血圧計及び計量機器の製造
A&D RUS CO., LTD.	505,247千露布郎	100.0%	当社製品の販売 (ロシア)

ホームページのご案内

当社ホームページでは、IR情報や技術情報、会社情報等充実した内容となっております。

今後も株主の皆様に向けて当社の情報を提供してまいりますので、どうぞご覧ください。

<https://www.aandd.co.jp/>



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
株主確定基準日	3月31日 その他必要があるときは、予め公告いたします。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL https://www.aandd.co.jp/
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

<郵便物送付先・お問い合わせ先>

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行 全国本支店 みずほ証券 全国本支店
未払配金のお支払	みずほ信託銀行及びみずほ銀行の全国本支店	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。



株式会社エー・アンド・デイ
〒170-0013 東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
<https://www.aandd.co.jp/>



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

